

栄養室

患者さまの疾病状態の向上を考え、栄養状態の把握をし、医療の一環としての治療の促進に努める。
患者さまに美味しく・安全で・喜ばれる食事の提供をし、患者さまの疾病の回復に貢献する。

1. 2006 年度目標

2006 年 5 月より栄養室・調理室は統一され栄養管理室となる。

1)フードサービスの充実

楽しみを伴った喜ばれる食事の提供質の向上

衛生管理

職員の健康管理 (職員食堂)

2)業務の合理化

栄養士・調理師の業務の統一

(各種連絡会の徹底)

3)教育の充実

接遇教育

研修会・勉強会の参加

(管理栄養士・栄養士・調理師)

2. 2005 年度評価

1)顧客の視点

食事が食べられない患者さまへの対応として、NST の介入、嚥下食では温ゼリーの開発、また化学療法食として「さくら食」の献立を作成し運用に至った。

K タワーにおいては、ベッドサイド端末より常食の食事セレクト(A ,B の他 12 種類から)が可能となり、オーダーストップは 2 時間前を可能とした。K タワー用温冷配膳車の新規導入となる。

2)財務の視点

栄養食事指導は、下半期には指示依頼が減少し、目標の 72%であった。

K タワーオープン・精神科オープンに伴い食数の増加は、前年に比べ 112%であった。

3)内部プロセス

管理栄養士・栄養士・調理師の連絡会を実施し、業務の徹底を図った。

K タワー開設に伴い電子カルテによる食事のオーダーリングを実施した。

栄養管理システムの変更を行う。新規構築・運用を行った。

4)学習と成長

食事の提供がスムーズにいくように勉強会を通して栄養室・調理室の協力体制を図った。

3. スタッフ数

- ・管理栄養士 17 名(栄養管理業務、病棟・外来・在宅栄養食事指導)
- ・栄養士 7 名(栄養事務管理・調理業務)

・事務員 1 名(事務管理)

合計 25 名

4 . 年間活動内容・実績

・NST・栄養管理委員会 2 回/月

・カンファレンス参加

(神内・脳外・外科・呼吸器・糖尿病) 1 回/週

・NST 情報交換会 1 回/月

・在宅ケアカンファレンス参加

・亀田リハビリテーション病院栄養カンファレンス 1 回/週

・院内糖尿病研究会参加

・栄養室勉強会 6 回/年

・院外学会研修会参加等 21 回/年

・月別食事提供状況は次のとおり

平均食数 1,973 食/日

月別食事提供状況(亀田総合病院・亀田リハビリテーション病院)述べ食数

	常食	リハ	軟食	リハ	流動	リハ	特別食	リハ	総合計
4月	19,235	1,370	8,587	1,412	715		17,166	1,003	55,474
5月	17,654	1,543	9,050	1,171	651		16,625	888	55,687
6月	18,858	1,517	8,806	1,090	583		13,728	1,311	54,527
7月	20,911	1,494	9,050	743	771		15,261	1,266	57,949
8月	22,647	1,293	9,718	595	877		17,256	1,215	62,635
9月	23,291	1,161	8,806	667	965		14,904	764	59,456
10月	23,716	938	10,700	1,247	958		17,683	797	64,060
11月	22,075	1,300	9,459	1,128	1,113		15,445	733	59,588
12月	22,537	1,812	9,427	1,133	805		17,408	783	62,304
1月	21,588	1,906	8,678	1,132	589		16,261	684	58,576
2月	20,501	1,670	8,847	915	694		16,643	835	57,668
3月	23,102	1,911	9,454	1,004	823		16,323	898	62,218
合計	256,115	17,915	111,660	12,237	9,534		194,703	11,177	710,142
月平均	21,343	1,493	9,305	1,020	795		16,225	931	59,179

5 . 栄養食事指導業務

栄養指導状況(延べ件数)

* 母親学級：年間 12 回実施、実施延べ人数 88 名、歯科センターと共同開催

* 糖尿病予防教室：年間 2 回実施、実施延べ人数 22 名

* 健康教室：年間 8 回実施、実施延べ人数 108 名、健康管理センターとの協力のもと糖尿病の食事の提供と講義を行う。

* クリニックフェア：年間 12 回参加

* 糖尿病患者会(わかめ会)：2005 年 12 月 4 日(日)、採点方式昼食会 55 参加

* 房総イキイキレディースフォーラム参加

	病棟	病棟集団	外来	外来透析	在宅	NST介入	リハ病院	合計
4月	53	22	231	14	50	35	0	519
5月	36		207	9	48	32	0	402
6月	40		219	8	46	34	2	415
7月	34		218	8	44	21	2	418
8月	53	18	225	11	44	52	1	409
9月	51	22	181	14	57	42	2	371
10月	35	23	188	13	49	41	4	374
11月	63	18	186	15	48	36	2	380
12月	47	15	188	7	52	31	1	366
1月	52	9	204	6	41	27	1	357
2月	68	18	209	4	51	44	1	360
3月	80	10	221	6	51	31	5	416
合計	618	155	2,477	115	581	426	21	4,787

6. 学会・研究発表

発表者名	演題名	発表学会名	開催月日
座間桂子	指導困難な糖尿病患者への取り組み	第48回日本糖尿病学会 年次学術集会	2005-05-12～05-14
和田聡子	タッチパネルによるセレクトメニューの導入について	千葉県栄養改善学会	2006-02-04

講習会講師

講師名	講習会等の演題名	講習会等の名称	開催月日
鈴木洋子 須田亜紀子	「看護の日」記念行事 町の保健室 栄養指導	千葉県看護協会 安房地区部会	2004-05-08
鈴木洋子	褥瘡（予防とケア）A 褥瘡（予防とケア）B	千葉県看護協会	2005-05-11 2005-07-26
和田聡子	親子学習会「食と健康」	鴨川市立太美小学校 行事	2005-07-12
和田聡子	管理栄養士から見たNST活動	第8回千葉県日立ユーザ ー会（検査）	2005-10-01
松井孝子	かんたん嚥下食	南房総PDNセミナー	2005-10-30
松井孝子 麻生美保子	嚥下困難な方の食事 （講話・調理実習）	介護予防・地域支えあい 事業 「介護者のつどい」	2005-11-08
田渡和子	ノロウイルス予防について 成人予防の食事について	安房保健所管内調理師 会	2006-01-25
麻生美保子 田渡和子	嚥下食の作り方	安房地域難病相談・支援 センター	2006-01-28
和田聡子	子どもの食と健康	江見中学校区学校保健 委員会	2006-02-02
和田聡子	生活習慣病予防を進めるための地区 組織活動	食生活改善推進員リー ダー研修会	2006-03-14

文責：和田聡子